

島根大学法文学部紀要法経学科篇

経済科学論集

第 51 号 野田哲夫教授退職記念号

2025年3月

論 説

時間貧困に着目した若者・ビジネスケアラーの
ワークライフバランスの実現

宮 本 恭 子 1

食料安全保障をめぐる国際社会の動向と
日米の政策展開について

渡 邊 英 俊 23

食料廃棄資源のアップサイクルによる地域循環経済の形成
－(株)錦海化成の事例研究－

藤 本 晴 久 41

研究ノート

時差出勤に対する大学生のイメージは？
～島大生へのアンケート調査から～

飯 野 公 央 59

野田哲夫教授 略歴 業績リスト

75

島 根 大 学 法 文 学 部



野田哲夫先生

献 呈 の 辞

野田哲夫先生は、1992年に本学助教授として着任され、その後33年間にわたり島根大学および法文学部の教育、研究、運営にご活躍されました。

教育面では、情報経済論をはじめとした多数の専門科目をご担当になり、また、大学院生の指導において学会等での研究発表を促すなど、熱心に研究指導にあたられたほか、松江市寄付講座の「Ruby プログラミング」の開設・運営にもご尽力なさいました。

研究においては、まず大きなご功績として、情報経済論における基礎概念の確立をめざして、情報の商品化と人間労働の概念の拡張、商品交換と貨幣のデジタル化による貨幣論および貨幣物神の現代的意義を明らかにされたことが挙げられます。また、現代資本主義経済におけるオープンイノベーションの措定の研究として、生産過程におけるオープンソースやオープンデータの位置づけを明確にするとともに、その労働生産性や経済効果を計量的に明らかにするなど、国際的な研究動向にも大きく貢献されました。さらに、シェアリングエコノミーを生産者側だけでなく消費者側まで含めた広義のオープンイノベーションと捉え、その活用による経済効果と地域における導入の意義と課題を明らかにされたことも特筆すべきご業績です。

大学運営に関しても、法文学部副学部長、法経学科長、学生委員長などを歴任されたほか、総合情報処理センター長、学長特別補佐、教学IR企画室長として本学の管理運営・情報基盤整備に大いに寄与されました。

このような多年のご功績に感謝の意を表しつつ、先生のご健勝と一層のご活躍を祈念して、このたび定年により本学を退職されるにあたり、『経済科学論集』はここに記念号を編集して先生に謹呈いたします。

2025年3月

島根大学法文学部長 浅田 健太郎

<執筆者紹介>

宮 本 恭 子	島根大学法文学部教授
渡 邊 英 俊	島根大学法文学部教授
藤 本 晴 久	島根大学法文学部准教授
飯 野 公 央	島根大学法文学部教授

島根大学法文学部紀要法経学科篇

経済科学論集 第 51 号

2025年3月31日 発行

編 集 者 島 根 大 学 法 文 学 部 法 経 学 科

TEL 0852-32-6150

編集委員 藤 本 晴 久

発 行 者 島 根 大 学 法 文 学 部

学 部 長 浅 田 健 太 朗

〒690-8504 松江市西川津町1060番地

JOURNAL OF ECONOMICS

MEMOIRS OF THE FACULTY OF LAW AND
LITERATURE, SHIMANE UNIVERSITY

No.51

March.2025

CONTENTS

Articles

- Achieving Work-Life Balance for Youth and Business Carers Focusing on
Time Poverty
MIYAMOTO Kyoko 1
- Vulnerability of Global Food System and Food Security Policy in Japan
WATANABE Hidetoshi 23
- Formation of a Regional Circular Economy through Food Waste Upcycling
– A Case Study of Kinkai Kasei Co., Ltd. –
FUJIMOTO Haruhisa 41

Note

- What are university students' impressions of staggered working hours?
～ the results of a questionnaire survey of Shimane University students ～
IINO Kimio 59
- Career and Works of Professor NODA Tetsuo 75
-

Published
by

THE FACULTY OF LAW AND LITERATURE
SHIMANE UNIVERSITY